



学校だより  
**桜っ子  
通信**

校訓  
自ら学び  
自ら考え  
自ら行う

令和4年12月16日 第61号  
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

## 2学期もあとわずか

今年の12月は、例年と比べて温かいと感じていましたが、今週火曜日に九州北部に北からの強い寒気が流れ込み、急に気温が下がり、長崎市においては初雪も観測されました。急な気温の変化により、体調を崩す子どもたちが増えるのでは無いかと危惧しておりますが、今のところ、多くの子どもたちが元気に学校生活を送っています。

また、昨日の長崎県内の新型コロナウイルス感染症の新規感染者が1542人となっており、先週の木曜日と比較すると451人増えています。世代別では、10歳未満と10代を合わせると全体の約3割となっており、長崎市においても学級閉鎖となっている小学校も数校あります。学級閉鎖となった学校の校長によると、新型コロナウイルス感染症に罹患した子どもたちの症状は、概ね軽症であるが、一つの学級であつという間に感染者が増える状況で、感染力は非常に高いと感じているとのことでした。

本校においては、特定の学級で感染が拡大していることはありませんが、数名の子どもたちが陽性及び濃厚接触により出席停止となっております。今後とも感染対策をしっかりと講じて、桜っ子には、残り1週間となった2学期を元気に過ごして、2学期のまとめをしっかりと行って欲しいと思いますので、各ご家庭におかれましても、これまで以上にお子さんの体調管理にご留意いただきますよう、お願い申し上げます。

## 年末の交通安全県民運動

12月14日（水）から23日（金）の期間で、年末の交通安全県民運動が実施されています。本運動のスローガンは「**あぶないよ 青でもきちんと みぎひだい**」となっております。また、歩行者の道路横断中の交通事故防止が重点の一つとして設定されています。なお、実施要項には、「横断歩道では歩行者優先ですが、県内では、横断歩行者が横断歩道で待っていても停止しない車両が多く見られるなど、運転者の歩行者保護意識は決して高いとは言えません。また、歩行者も、近くに横断歩道があるのに横断歩道ではない場所を横断したり、横断禁止場所を横断したりするなど、歩行者が横断ルールを守らないことも交通事故の原因となっております。」と記載されており、歩行者にもいくつかの留意事項が示されておりますが、子どもたちには、特に以下のことをしっかりと守って欲しいと思います。

○道路を横断するときは、近くの横断歩道を利用し、横断する前には手を挙げて、運転者に「手のひら」を示して横断の意思表示をしましょう。

○道路を横断するときは、左右の安全確認をしてから横断を開始しましょう。また、横断途中も左右の安全確認をし、特に左から走ってくる車両の確認をしっかりとしましょう。

なお、11月7日（月）に通学路点検をPTA副会長の岡部さん、長崎市教育委員会、長崎署等の関係機関と行いました。その際に依頼した本校正門前の信号機の変換周期の変更が認められました。これにより、歩行者信号が青にもかかわらず横断歩道上に留まる車両がなくなりました。関係機関の迅速な対応に心から感謝申し上げます。

## 本校におけるマスクの着用について

12月6日（火）に長崎市教育委員会を通じて、文部科学省からの事務連絡『「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更等について』がありました。それによると「**児童生徒等の心情等に適切な配慮を行った上で、各学校においてはマスクを外す場面を設定する、マスクの着用が不要な場面において積極的に外すよう促すといったことを通じて、引き続き、活動場所や活動場面に応じたメリハリのあるマスクの着用が行われるよう、よろしくお願いします。**」となっております。このことを受けて本校では、校内ではマスクの着用を基本としますが、テストをしているときや教室で読書をしているとき等、マスクの着用が不要な場面では、マスクを外すよう促すこととします。なお、心情的にマスクを外したくない、また、諸般の事情やお考え等によりマスクを外させたくないご家庭もありますので、マスクを着用したままでもいいことも伝えることとします。マスク着用については、様々なお考えがあることも承知しておりますが、現在の感染状況等を鑑み、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。